

おおみや

発行…埼玉県社会保険労務士会 大宮支部 広報部 発行日…平成23年1月1日
ホームページアドレス <http://www.sr-omiya.net>

年頭挨拶



埼玉県社会保険労務士会
大宮支部長
石倉 正仁

新年あけましておめでとうございます。大宮支部会員の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。旧年中は、皆様に大変お世話様になり、深く感謝申し上げます。

さて、昨年は、皆様方にとりましてどのような年でありましたでしょうか。心穏やかに順調な日々をお送りいただく事が出来たのでしょうか。長引く景気の低迷は、社会全体に大きな影響を与え、様々な問題を引き起こしているように私の目には映ります。個別労働関係紛争は増加の一途をたどり、精神疾患の給付申請も年々多くなっております。特に昨年は、大卒者をはじめ、学卒者の就職率が低いことが問題となりました。この現状は、若者に夢と希望を与えることが出来ず、諦めの境地に至らせ、国力を弱める原因となっていくことが懸念されます。また、かつて池田勇人元首相は「経済の成長と繁栄とがあつて初めて、日本は自主的な外交ができることを痛感している」と言われたそうです。外交や安全保障においても経済力の影響が多大であるようです。近隣諸国との関係も緊張感が生まれている現在、改善の方策が見出

せることを期待しております。

このような状況の中、大宮支部では各部を中心として順調に会務を遂行させていたいただいた訳であります。特に「事務所設置に関する特別委員会」を設置して支部長事務所から独立した新事務所の設置について協議をしていたいただきました。意見集約が終わり、理事会において全会一致で可決をみた議案につきまして、会員の皆様にご審議いただく臨時総会を1月19日に予定しております。この議案につきましては、現状の改善だけではなく、今後の支部のあり方を見据えて活発な議論が行なわれ、皆様方のご理解を賜われれば幸いです。

結びにあたりまして、本年も皆様にとりまして、素晴らしい年となりますことを心からご祈念申し上げます。年頭のご挨拶と致します。本年もよろしくお願い致します。

臨時総会のお知らせ

既に御案内のとおり、1月19日、さいたま新都心「ラフレさいたま」に於いて臨時総会が開催されます。事務所設置に関する重要事項等が審議されますので、多くの会員の皆様にご出席をお願い致します。

この2年を振り返って

広報部長 前田 新太郎

遠藤前広報部長を引き継ぎ、大宮支部の広報部長を務めさせていたたき、この3月で2年になります。もともとずぼらな性格のため、細かな事務連絡、手配等は苦手で、村岡副部長をはじめ、広報部員の方にはご迷惑のかけつばなしでした。

広報部の仕事の一つは、社会保険労務士の業務・活動を地域の皆様方に知っていたため、広報活動であり、もう一つは支部の会員の皆様方に業務に必要な情報、会員間の交流を深めるための情報を提供すること。情報交換の場を提供することと考えています。

前者の一般広報活動については、その効果を確認するまでには至りませんが、「咲いたまつり」における「無料年金・労働相談」の実施によりある程度は達成できたと思っております。後者の会員間の情報提供についても、「シャロームおおみや」の発行、HPへ情報掲載により、所期の目的は達成できたと思っております。情報交換の場の提供については、未だ不十分だと感じています。HPの掲示板の利用方法などを検討し、お互いにとって有効な情報を会員の皆様に発信して頂き、それを会員全員が共有できるようにしていければと思っております。今後とも広報部の活動にご理解・ご協力をいただければ幸いです。

熱闘！彩湖・道満グリーンパーク

読書の秋、食欲の秋、そしてスポーツの秋という事で、秋晴れの空の下、支部対抗ソフトボール大会が10月2日に開催されました。ここ数年良い成績を残せていない大宮支部は、今年はなんとしても勝利を収めようと、長谷川監督の下、満を持して大会に臨みました。開会式の後、まずは朝霞支部戦、実力伯仲している相手であり、是非とも勝利を収めたいところです。今年は、大宮支部の女性陣が応援に駆けつけ、ボンボンや鮮やかなモールでチアガールに扮して熱い応援を送って下さったのですが、序盤の大量失点が響き、最終回に猛烈な追い上げを見せるも、惜しくも9対7で敗れてしまいました。

午後は1回戦の敗者同士の対戦となり、所沢支部と戦うことになりました。



1回の表に、石倉投手の針の穴を通すようなピッチングで相手の攻撃を無得点に抑えると、その裏の攻撃で、ここまで眠っていた大宮支部マシンガン打線が火を噴き、渡部選手のランニングホームランなどで、一挙11点という大量得点を挙げ試合を有利に進めていきました。

最終回に所沢支部も粘りを見せ、あわや逆転かというところで、痛烈なショートライナーを金子選手が好捕しゲームセットとなりました。結果15対13で接戦を制し、来年に向けて大きな弾みとなる勝利を挙げることが出来ました。監督・選手の皆様お疲れ様でした。



久しぶりのソフトボールでした

渡部 健彦 先生

去る10月2日に支部対抗ソフトボール大会が、晴天の空の下、絶好のグラウンドコンディションの中で開催され、今年入会した私も初めて参加させていただけました。

生来の野球好きで、少年の頃は泥んこになり白球を追っていた野球小僧でしたが、久しぶりのソフトボールで、また、最近の運動不足も重なって身体が動くのか少々不安でしたが、楽しい一日を過ごすことができました。思い起こせば、ソフトボールは自身が以前に大洋州にあるパプアニューギニア国に赴任していた時、現地日本人会草ソフトのメンバーと共にプレーした以来で、約5年振りのバットとボールとグローブでした。

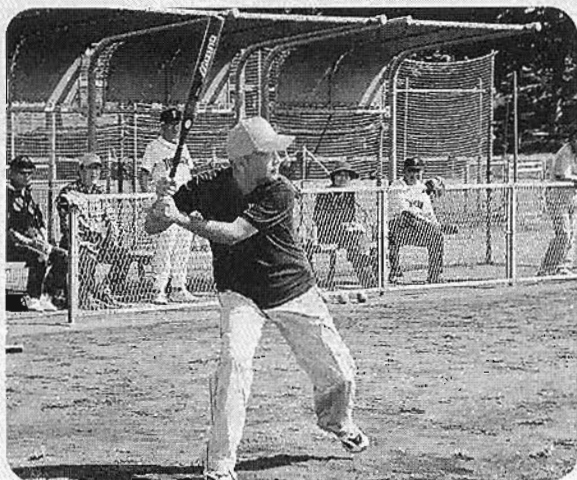
ここでちよつと話題を変えて パプアニューギニア豆情報。

正式名をパプアニューギニア共和国、オーストラリア大陸の北、赤道の南に位置するニューギニア島の東半分(西側はインドネシア)を占める国です。首都はポートモレスビー(この街で暮らしていました)、面積は、日本の約1.25倍、人口は約70万人、公用語は英語とピジン語(地方に固有言語もあります)。日本人には、第二次世界大戦の激戦の舞台になってことで知られているかと思えます。今も当時の防空壕の跡や日本の戦闘機の残骸などが生々しく残されています。自分が駐在して

いるときにも、戦没者のご遺族が、慰霊のため戦地となった場所を訪れていました。また、現代文明には無縁な未開の地がまだまだ多く存在しており、その謎めいた秘境では八百以上の部族がそれぞれの異なる文化や言語を保有し、そこにある自然と寄り添うように穏やかに生活している模様もテレビ、雑誌等で紹介されたりしています。

さて、肝心のソフトボール大会です。新調したお揃いのポロシャツで、何と云ってもオレンジ蛍光色大宮カラーですか？の帽子がどの支部よりもひと際目立つ装いの我が大宮チームですが、最近はず連敗続きとのことで、今年は何とか一勝！を合言葉に試合前から気合の入った練習を行い、チームの意気込みを感じながらの第一試合に臨みました。あさか支部チームとの対戦の一回戦、チーム力も均衡しており、大接戦の試合でした。リードを広げられている展開での最終回、そこから脅威の粘りで、一打同点そして逆転まで追い詰めましたが、あと一歩及ばずに残念ながらの惜敗！本当に悔しい思いでした。

その後、二回戦の敗者同士が対戦する交流戦として所沢支部チームとの二試合目。前回大会のベスト4の実力のある所沢チームですが、当たって砕けるの意気込みで、今大会最後の一勝の機会へ向けて、気合を継続して試合に挑みました。なかなか、戦前の予想に反して、我が大宮チームの打線が爆発！蛍光色の派手な帽子がホームを駆け抜けまた駆け抜ける様は、最近の連敗の憂さを晴らすような圧巻の試



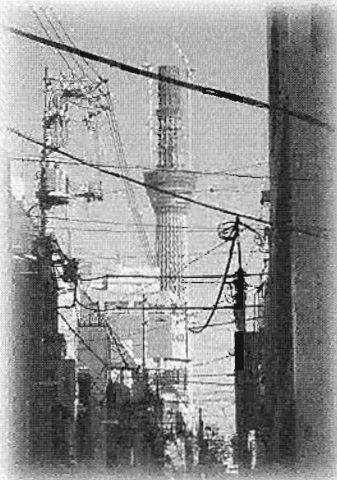
合内容で見事に勝利！念願の一勝に沸き立つベンチ、石倉支部長も思わず勝利のスコアボードの前で記念写真を撮っていたほどです。また、ベンチでの力強い応援も大きな勝利の力となり、特にチアガール！の皆様、お疲れ様でした。閉会式では、その応援振りが評価され大宮支部が見事に応援賞に輝き、久々の一勝と合わせ二重の喜びでした。

初めての支部同好会の行事としてソフトボール大会に参加し、楽しい一日を過ごさせていただき、また、メンバーの皆様との親睦をもてたこと、メンバーの皆様感謝です（予想とおり、翌日から数日間は筋肉痛で、日頃の運動不足と年齢を実感する機会となりました。とほほ！？）最後に、取りまとめをいただきました長谷川先生の熱い監督ぶりがあった一勝でした、大変お世話になりました。ありがとうございました。

東京下町散歩Ⅱ

平居 一雄 先生

スカイツリーが橋の上から美しく見える隅田川「吾妻橋」の隣にあるアサヒビール本社の3階の個室で、夕方4時にビールで乾杯を始め、次々に出てくる料理を味わいながら、日本酒、赤・白ワイン、焼酎、ハーブビールで7時近くまで食事が盛り上がりました。



今日は、文化の日の11月3日です。午後1時30分、上野駅改札に集合の、旅行・ハイキングクラブ主催「東京下町散歩Ⅱ」アメ横散策↓上野コリアタウン↓下谷神社参拝↓河童橋道具街見学↓浅草寺参拝↓アサヒビール（ピアホール）の散策コースに、初めて参加しました。

参加者 男女総勢18名で上野を出発し、混雑するアメ横を、みなさんからはぐれないよう、先頭集団に混じって歩き、途中センタービル地下を見学。

アメ横には毎年暮れに買い物に来ており、よく知っているつもりでしたが、この地下に豊富な種類の蟹が並んでいる魚市場があるの始めて知りました。

アメ横から上野駅東側に少し歩いて戻ると、焼肉店がぎっしりと並んでいる、上野コリアタウンがありビックリ、この一角も始めて来た場所でした。

次に、合羽橋に向かう途中で、静かな下谷神社へお参りのあと、鳥居前の階段で、みんな記念撮影。



河童橋道具商店街では、自由散策となり、皆さん思い思いに食器・刃物・道具類を見学。何人かがウインドショッピングに熱中して集合場所に遅れましたが、無事3時過ぎにまた全員で次の浅草寺へ向かいました。浅草6区ブロードウェイから少しわき道に入ると、そこは昼間からアルコールの匂いに満ちたホッピー通りがあり、両側に赤提灯の屋台風の店が何処までも続いています。

浅草寺では、人の波をかき分け、なんとかお参りを済ませ、最終目的地のアサヒビールビルに早足にたどり着き、夕方4時までの2時間半の散歩を終え、おいしいビールを飲み、秋の楽しい日を過ごしました。



広報部注

東京スカイツリー

東京都心部に建てられている超高層ビルの増加に伴い、東京タワーからの送信が電波障害を生じるようになったので、それを低減する為に東京都墨田区押上に建設中の電波塔である。

着工当初は、高さを610.6mとする計画であったが、2009年10月16日に高さが634.0mとなるように計画を変更したため、完成すれば電波塔としては世界一の高さとなる。

2008年7月14日に着工し、2011年冬に竣工。2012年春に開業予定。

地区懇談会開催

上尾・伊奈地区

相談員 荒川 功 先生

寒さが感じられるようになった11月9日、上尾の季節料理店にて両地区合同の懇親会が開かれました。席上、家庭での労務管理について話題となり、右と言われたら「ハイ」と言い、左と言われたら「そうですか」と頷き、我慢とゆずり合う気持ちが必要だと、そんな話で和やかに楽しい一時の懇親会でした。村岡幹事さんご苦勞様でした。

相談員 村岡 武仁 先生

落ち着いて、また自由に語り合える場所とは思ったものの、会員のご都合が揃わず、少人数の懇談会になってしまったのは少々残念でしたが、仕事のことから最近の話題へと会員が話し合いに参加して懇談会は盛り上がりました。次回には是非とも大勢の会員に参加してもらい、この雰囲気を感じてもらうと思います。



桶川・北本・鴻巣3地区合同

相談員 平田 正昭 先生

石倉支部長・服部副支部長の出席をいただき、支部活動の現況報告がなされた後、出席者から活発な意見や提案がなされた。約1時間の懇談会の後は、くつろいだ雰囲気の中で鍋を囲んでの楽しい懇親会となった。(出席者数12名)



大宮区・北区・西区・見沼区合同

相談員 越智 光生 先生

今回の地区懇談会は旧大宮市内の4地区合同での開催となりました。そのためかどうかかわかりませんが、各地区とも出

席者は減ってしまったようで合計で21名の参加となりました。参加者の顔ぶれを見てみると入会1年未満の人が4名ほどいて、2〜3年程度の方は数人でその他の他はコミュニケーションの大切さを感じている中堅以上の方々が多かったように思えました。人数も多すぎると嫌まりがなくなってしまうですが、1テーブル10人程度の2卓となりましたので2時間の懇談会も和気あいあいのまま過ぎて、そのあとで有志が10名ほどでカラオケで美声？を競い合いました。

相談員 大沢 亘 先生

今年は旧大宮市の合同の地区懇談会で人数の多く、フレッシュな新人も多数参加して楽しい地区懇談会となりました。ひとりひとりの自己紹介もあり、各自自分のことをもっと喋りたかったようですが、時間が限られていてそれぞれ充分にはお話できなかったようですが、「あつ」という間の楽しい2時間でした。終了後有志でカラオケに行ったのですが、大盛り上がりで、更に楽しかったですよ。

幹事の越智先生ご苦勞さまでした。



中央地区

相談員 長谷川 祐司 先生

平成22年12月11日(土)午後2時より、さいたま市下落合コミュニケーションセンターに開催。中央地区は、40名に満たない会員数です。このうち35名の会員から出欠の連絡をいただき、14名の参加を得て開催しました。

報告事項では、臨時総会についての話を中心に行い、出席皆様の貴重なご意見などをいただきました。

今回は、アイスブレイクという手法を使い、傾聴の意義や感情の機微について実際に体験していただきました。楽しかったという声もありましたが、つまらないという不満の声もあったようです。

こういった声も含めて一人一人の考え方の違いやその時の感情の違いなどを実感していただけたのではないかと思います。

午後5時少し前に地区懇談会を終了し、隣にある居酒屋にて懇親会を開催し、盛り上がったことをご報告します。



咲いたまつり年金・

労働相談会に参加して

斎藤 由紀子 先生

10月10日(日)、さいたま新都心に於いて「咲いたまつり」無料年金・労働相談会に、相談員として参加させて頂きました。青い空が広がったこの日、会場のけやき広場は秋の爽やかな空気を感ぜられ、お祭りの賑わいの中、多くの方が立ち寄って下さいました。

私は、8月に開業いたしました新人の社会保険労務士です。企業で社会保険業務と健保組合業務に従事していた頃、質問をお受けする事がありました。と言いましても年金・労働相談会にあたっては初めての経験です。先輩先生方からのご指導を賜り、お蔭様で無事に相談員としての活動を遂行できました。心より御礼申し上げます。

相談の大半は年金に関しての内容でした。「60歳の定年後も仕事を続けた方が良い?」続けた場合に年金が減ってしまうことはないか?」という主旨の質問が男性・女性ともにあり、定年後の生活や働き方について、年金を考慮の上検討したいという思いを抱く方は多いと感じました。また、「昨日通知が届き、年金からの天引きが急に高くなってしまった」という特別徴収に対しての不安の声や、基金の制度に関する質問などもありました。相談者の方々は、日頃気になっ

ている事を相談できたので安心して下さっていました。全員の協力により社会保険労務士の職務を、お祭りに来られた皆様に広くPRできたと思います。

終了後は慰労会が行われました。ご尽力された広報部の先生方へ感謝の意を込め、皆で乾杯。色々な話題に花が咲き、とても和やかで楽しい時間でした。

これからもこのような支部の活動に積極的に参加したいと思っておりますので何卒よろしくお願い申し上げます。

平成22埼玉会ゴルフコンペ

鈴木 正剛 先生

平成22年11月4日(木)鴻巣カントリークラブにおいて埼玉会支部対抗ゴルフ大会が開催されました。今年も県内11支部の精鋭84名が、秋晴れの中ゴルフの腕を競い合いました。他支部では予選会を開いているところもあるそうですが、大宮支部からは、石倉支部長、長谷川副支部長、高野専務理事、平田正昭先生、齋藤壽實穂先生、後藤正行先生、田口修身先生、山口恵美子先生、そして私(鈴木正剛)の9名の暇人が参加しました。

例年ですと、11月の早朝7時30分頃の開会式は、震えながら「今日一日寒いでゴルフかね」と思っていました。開催当日は、朝から半袖、「パット練習でも汗かいちゃったぜい」という感じの脂ギツシユな老社労士さんがいるほど、暖かで

穏やかな陽気でした。

ここ数年大宮支部は、厚生事業において目立った活躍がありませんので(ゴルフもソフトボールもボウリングも鳴かず飛ばずです)、石倉支部長を筆頭に「なんとかがゴルフぐらいは入賞!」と、気分充分で望みました(集まって練習もしないないので本当に気持ちだけです)。

埼玉会ゴルフ大会の団体戦は、各支部参加者のスコアが良い上位4名の合計で競い合います。大宮支部の場合、誰が一軍(当然上位4名です)になるか誰が二軍になるか分からないくらい…。要は、皆どんぐりの背比べで、埼玉会のゴルフ界では底辺のほうだということでした。

競技が終わり、他支部の情報収集をしていると、大宮支部の一軍4名のスコアでは、上位入賞は、夢のまた夢のような感じでした。ところが、順位の発表が始まると「おつ! 7位でも呼ばれない」や「やつ! 5位にも呼ばれない、上位4支部に入つた」となかなか大宮支部が呼ばれません。とうとう3位入賞の発表で、「2位と3位は、同スコアです!」と大宮支部と浦和支部の名前が呼ば上げられました。表彰的には、なぜか大宮支部が3位、浦和支部が2位となりましたが、久しぶりの大宮支部の奮闘に会場が(当然、大宮支部もです)沸きました。ちなみに、一軍は、石倉支部長、田口先生、後藤先生、鈴木でした。個人戦でも田口先生が5位と健闘し(ハンデに恵まれただけです。がね)、賞品の掃除機を持って帰りまし

た。そして、優勝支部は、…面倒なのでホームページでも見てください。

私は、このゴルフ大会に参加したの頃、他支部に知り合いも少なかったため、楽しいとは言えず、正直、義務感で参加していました。回を重ねるうちに顔なじみも増え、「鈴木さん、今日もドライバー飛ばすの?」と声をかけられることもあり、最近では知り合いとの無駄話をする楽しみも増えました。我々の日常は、会社勤めのように、仕事仲間は存在しない寂しい仕事です。だからこそ、厚生事業を通じ、仲間を作ることもストレスの発散になるのだろくなあと今更ながら思い、ちよつと厚生事業を見直した一日でした。



写真提供
埼玉県社会保険労務士会広報委員会



松山旅行記

渡邊 紀子 先生

私は、役員1期目の新米厚生部員です。

今期の厚生部一番の目玉企画は、支部研修親睦旅行でございます。平成22年10月22、23日(金・土)、行先は愛媛県松山市でした。

厚生部にとって、支部研修親睦旅行は、計画段階から始まっているといっても過言ではありませんし、参加された会員の皆様が楽しんでいただけるようにがんばりました!!と胸を張って宣言……、それは願望であって事実ではありません。私は、あまりというよりほとんど役立たずで、他の参加者の皆様と同様に、いやそれ以上に、純粋に、旅行を楽しんでしまいました。

どのように楽しい旅行だったかと申しますと、時間軸でまとめてみます。

1. 飛行機に乗ったこと(恥ずかしながら、東京モノレールに初めて乗りました。)
2. 松山大学法学部教授の村田毅之先生の講義が大変面白かったこと(後述します。)
3. 村田先生との懇親会が楽しかったこと(2次会、3次会、4次会……)
4. 松山城までの(私にとっては)山登りがとてもとてもつかったこと
5. 道後温泉に初めて入ったこと(天皇用浴槽とお手洗いを見学しました。)
6. 道後ビールが美味しかったこと(みかんシャーベットも美味しかったそうです。)
7. 「坂の上の雲」のはじまりの地であること(いたるところに秋山兄弟です。)

あげればきりがありませんが、言うまでもなく、道中の親睦があつてこそその感想です。

村田先生の講義が面白かったとは何事かと、お叱りを受けてしまうかもしれませんが、あえてこの言葉を使わせていただきます。

正直申しますと、講義直前まで、観光気分が抜けずに講義に集中しきれないのではないかと少し思っていました。それはとんでもないことでした。バキッとスイッチが入れ替わったように、講義に入り込みました。

村田先生は、愛媛労働局であつせん委員をされており、「労働局あつせん・生の声」ではないですが、最近の事例に基づいて、実際にどのようにあつせんが展開されていくのか、私たち社労士のあつせんへの対応の仕方など、ご講義くださいました。

その後の懇親会では、愛媛県社会保険労務士会御用達の料理屋で、さすが瀬戸内だけあって、安くて美味しいお料理をいただきました。村田先生は東北のご出身だそうで、お酒がお強い。皆様も、帰宅時間を気にしなくてもよい飲み会に、いつもより5割増で楽しんでいらっしやいました。私はといひますと、やってみました。松山の繁華街のコンビニで迷子になり、支部長はじめ皆様に迎えにきてもらったのです。

その節はご迷惑をおかけいたしました。

勢いだけで筆を進めてしまいましたが、松山旅行が楽しかったことを少しでもお伝えすることが出来ていれば幸いです。乱筆乱文、ご容赦下さい。

最後になりましたが、今回参加された皆様、本当にありがとうございました。



行政への参画

沖山 詔一 先生

さいたま市の「高齢者保健福祉計画、介護保険事業計画」の第五期計画を策定するための検討協議会(二十六名の会議組織)の委員として、計画策定の打ち合わせに参画しております。

さいたま市報の昨年四月号で、検討協議会委員の募集があり、これに応募したところ、委員の一人に選任されました。応募要領は、「地域で支えあうまちづくり」というテーマについての意見・考えをまとめた作文(一千字以内)と履歴書を提出するといふものでした。十一名の応募者があり、作文の審査と面接を経て、私を含む三名が公募委員として選任されたということです。

面接の際にも訊かれたことですが、応募の動機は二つありました。一つは、老母二人(私の母と妻の母)を妻との協同作業で約四年間、介護したことがあり、老人の介護ということについては少なからず関心を持っていたこと。もう一つは、現役時代の私は東京都庁の職員として行政の内部にいたのですが、今度は外側から行政に関わってみたいという思いがあったことです。

計画の名前が示す通り、委員としての仕事は福祉の分野に属することですが、私の職歴は大部分が総務系と都市整備のハード系に属することで、面接者もその点が少し気になっていたようです。福祉関係の法令についてイロハのイも知らないようでは困ると思ったのかもしれない。履歴書に「平成二十年九月社会保険労務士名簿への登録」と書いてお

高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画

就業を望む高齢者が、それぞれの意欲や能力に応じて生きがいを持って働くことができるよう、シルバー人材センターやシルバーバンクの機能を充実させ、求職と求人のマッチングを進めていくと共に、高齢者が就業に必要な技術等を習得するための指導、企業に対する高齢者雇用の促進に関する啓発活動等に努めるなど、高齢者の就業機会の拡大・多様化に繋がる取り組み。

いたのが援軍になりました。社会保険労務士の試験に合格するためには、一般常識として老人保健法(後期高齢者医療制度の発足に伴い廃止)、介護保険法なども勉強しなければならぬことを説明し、オーケーとなりました。私は社会保険労務士としての収入は殆んどない「名ばかり社労士」ですが、名ばかりであつてもそれなりに効用はあるものだと思つたしだいです。

委員の任期は平成二十二年七月一日から平成二十四年三月三十一日までで、この任期中に八回程度の打ち合わせが開かれることになっていきます。

微力を尽くしたいと思つております。

○10月1日

【開業】

並木 一雄

並木社会保険労務士事務所

さいたま市大宮区三橋4-390-3

熊木 美智代

熊木社会保険労務士事務所

さいたま市大宮区桜木町4-331-3-1508

【勤務等】

木下 哲男

さいたま市中央区上落合1-6-1-513

○10月15日

【開業】

井橋 盛夫

イハシ社労士事務所

北足立郡伊奈町大針1269-3

【勤務等】

川本 真由美

埼玉労働局 雇用均等室

さいたま市中央区新都心11-2

新入会員紹介

○22年8月1日

【開業】

斎藤 由起子

社会保険労務士斎藤事務所

さいたま市大宮区桜木町1-9-18タナカビル

平居 一雄

社会保険労務士事務所

さいたま市北区日進町1-168-1

ベルヴィル大宮 A-114

【勤務等】

都築 健太

上尾市原市4230-53

伊藤 典子

さいたま市西区西遊馬981-2

○8月15日

【開業】

渡部 健彦

渡部労務管理事務所

さいたま市大宮区東町2-214

ブランドールOMIYA301

【勤務等】

新堀 幹人

さいたま市見沼区大字蓮沼913-5

新大宮サンハイツ202

○9月1日

【勤務等】

前田 忠宏

さいたま市北区宮原町4-21-10

鈴木 誠一

さいたま市大宮区三橋4-348-7

大室 潤一

上尾市小敷谷1175-17

大宮支部「らくらく連絡網」 情報提供サービスのお知らせ

現在当支部では、各種連絡通知文(訃報等)、ホームページの更新状況等をあらかじめ登録して頂いたアドレス(携帯OK)に連絡する「らくらく連絡網」を導入しております。

希望の方は下記事項を入力して頂き、広報部までお申し込み下さい。

- | | |
|------------|-----------|
| 1 氏名(フリガナ) | 4 登録先アドレス |
| 2 性別 | 5 開業・勤務の別 |
| 3 住所 | |

申込先 広報部 Eメール:info@sr-omiya.net

☆「らくらく連絡網」とは

登録者に無料でメールにて一斉連絡出来るシステム(携帯時のみ迷惑メール着信拒否設定操作必要、メール受信のバケット代負担、広告挿入有)です。

同好会紹介

ボウリング同好会

県会の支部対抗大会に向けて、定期練習会と年2回の支部大会を行っています。お気軽にご参加下さい。



ゴルフ同好会

大宮支部ゴルフ同好会は、ゴルフの腕前向上より、仲間との友好が目的です。

御一緒にゴルフで日頃のストレスを分散しましょう。



ソフトボール同好会

ソフトボール同好会では、「明るく、仲良く、元気よく」のもと、他支部との練習？を行い、交歓を深めています。

練習に来て仲間と話すだけで帰っていく方たちもいます。

楽しくなければ同好会ではないですからね。

仲間を探すには都合の良い同好会ですよ。



旅行ハイキング倶楽部

来年度も行う予定で、もっと遠くへも行きたいと思っています。

大勢で名所旧跡を見学したり、おいしいものを食べたりしませんか。

スポーツはどうもという方も散歩ですので、お気軽にどうぞ。



新着情報満載

大宮支部HPをご利用下さい。

ホームページ

<http://www.sr-omiya.net>

本26号に関する感想、意見、よかったと思われる記事等を支部宛にメールでお寄せください。次号の参考にいたします。

大宮支部

E-mail: info@sr-omiya.net

編集後記

広報部員になつて発行した「シャロームおおみや」は4号ですが、そのうち実際に編集作業を担当したのは今号を含めて3号目になります。ワイドのスキルは上達しましたが、編集能力の方は上がりませんでしたか？、まだまだ試行錯誤の繰り返しです。支部活動を、会員の皆様にお知らせするという目的で誌面作りをして参りましたが、それが少しでも果たせていたら幸いです。最後にありますが、原稿を引き受けて下さった方々、写真を提供して下さいました方々、この場を借りまして厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

虚無僧

ひと言

高齢化は異常なスピードで進行している。街中では年配者の方々の姿が目につき、マスコミでは連日、認知症・介護・高齢者犯罪被害等の話題が取り上げられている。誰もが避けられない「老い」、その中でも自分の言動さらには存在さえ分からなくなる「認知症」は、現在でも2百万人をはるかに超えて増加の一途を辿っている。これは社会保障政策の大きな課題であり、いずれ今後最重要事項になると考えられる。年金をはじめ社会保障関係の唯一の専門家である社会保険労務士が社会的に要請される時代が直前に迫ってきていることを認識する時ではないだろうか。

(H・T)